

平成 25 年 11 月 5 日

平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

1. 26 年 3 月期第 2 四半期の個別業績（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

(1) 個別経営成績（累計）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	14,893	△1.1	320	4.6	333	1.8	283	△5.5
25 年 3 月期第 2 四半期	15,061	△3.1	307	—	328	—	301	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	23,665		10,122		42.7	
25 年 3 月末	25,077		10,236		40.8	

2. 経営状況について

【全体の状況】

当第2四半期累計期間においては、LIXILグループでのシナジー効果創出の一環として、西日本の基幹ショールームである大阪ショールームを大阪駅直結と利便性の高い「グランフロント大阪」へ移転、LIXILショールーム大阪と同時オープンし、LIXIL商材とのコーディネート提案を充実させ、内装材を超えてより多彩な商品を一度にご提案できる環境を整えました。

商品面では、身装・美術工芸部門で創業170周年を記念した商品・販売企画を実施し、好評を博しました。また、インテリア部門では、6月に幅広いニーズに対応できるラインナップをお求め安い価格で提供するオーダーカーテンシリーズ「Premier（プルミエ）」をリニューアル発売、また、7月には床材のシリーズをリニューアルし、総合見本帳「ビニル床タイル」「タイルカーペット」として発売し、商品ラインナップを充実させました。

当第2四半期累計期間における売上高は、身装・美術工芸事業は堅調に推移したものの、インテリアファブリック事業の売上が伸び悩んだことから、前年同期比1億67百万円（1.1%）減収の148億93百万円となりました。

損益については、原価低減による利益率の向上、経費削減に全社活動として取り組みを進めた効果で、営業利益は3億20百万円（前年同期は3億7百万円）、経常利益は3億33百万円（同3億28百万円）、四半期純利益は2億83百万円（同3億1百万円）となりました。

【事業別の状況】

[身装・美術工芸事業]

帯を中心とした呉服部門は170周年の企画が好調であったこと、緞帳や祭礼幕などを扱う美術工芸部門も売上が伸長したこと、また子会社じゅらくの合併効果等から、売上高は前年同期比1億7百万円（9.9%）増収の11億82百万円となりました。

営業利益については、増収に加えて原価低減・経費削減の効果などにより、同21百万円増益の1億7百万円となりました。

[インテリアファブリック事業]

カーテンは好調に推移したものの、ホームファッション部門の販売が落ち込み前年を下回ったこと等から、売上高は前年同期比3億42百万円（3.4%）減収の137億52百万円となりました。

営業利益については、原価低減・経費削減等の効果による減収のカバーで、同10百万円増益の2億63百万円となりました。

以上